

製品名: ALMS1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06789**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	460kDa

抗原情報

遺伝子名	ALMS1
別名	ALMS1; KIAA0328; Alstrom syndrome protein 1
遺伝子 ID	7840.0
SwissProt ID	Q8TCU4
免疫原	ALMS1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 1530-1610

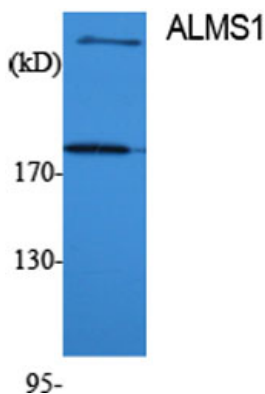
背景

この遺伝子は、大きなタンデムリピートドメインと追加の低複雑性領域を含むタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、微小管の組織化、特に繊毛の形成と維持に機能します。この遺伝子の変異はアルストロム症候群を引き起こします。こ

の遺伝子には、2番染色体の同じ領域に隣接して位置する偽遺伝子があります。選択的スプライスバリエントが記載されていますが、その全長は決定されていません。[RefSeq 提供、2014年4月]、発生段階：胎児組織で広く発現しています。胎児の膵臓、骨格筋、肝臓、腎臓、脳（タンパク質レベル）で検出されます。胎児の大動脈と脳で発現しています。疾患：ALMS1の欠陥は、アルストロム症候群（ALMS）の原因です[MIM: 203800]。アルストロム症候群は、進行性錐体桿体網膜ジストロフィー、感覚性難聴、小児期肥満、2型糖尿病を特徴とする稀な常染色体劣性疾患です。拡張型心筋症、黒色表皮腫、男性性腺機能低下症、甲状腺機能低下症、発達遅滞、肝機能障害もこの症候群に関連することがあります。機能：細胞内輸送における役割が示唆されています。PTM：DNA損傷時にリン酸化され、おそらく ATM または ATR によるものと考えられます。細胞内局在：一次繊毛の基部にある中心体および基底小体と関連しています。有糸分裂中は紡錘体の両極に局在します。組織特異性：脂肪組織および膵臓を含む、検査したすべての組織で発現しています。膵臓の膵島β細胞で発現しています（タンパク質レベル）。

研究分野

画像データ



ALMS1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析